

学校だより

緑風

くろよくふう

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和5年12月1日(金) 第8号

「有難い」と「ありがとう」

校長 二瓶 亮

朝晩の冷え込みが厳しさを増し、遅れていた紅葉も一気に北から南へと駆け抜けています。早いもので師走となります。残り少ない2学期、風邪や感染症予防対策に気を配りながら、最後まで元気に学校生活を送りましょう。保護者の皆様、お子様の健康管理に十分に御配慮いただき、特に3年生は進路選択の本番を迎える時期を健康に過ごせますよう、よろしくお願いたします。

2023年の終わりが見えてきました。令和5年度は3月まで続きますが、新年が近づいてくるとこの1年を振り返る機会が増えます。皆さんにとって、どんな1年でしたでしょうか。わたしは校長としても個人的にも周囲の方々に支えられて今年もここまで来られたことを有難く感じています。関わってくれた方々に感謝の気持ち「ありがとう」でいっぱいです。

人は人から施しを受けたとき、助けられたときに感謝の意を「ありがとう」という言葉で表します。「ありがとう」を漢字で表記すると「有り難う」となります。漢字の意味からすると「難(なん)が有る」となり、感謝の意味とのつながりがどこにあるのか不思議に思います。語源については一般的に『ありがとう』は本来『有ること』が『難しい』という意味を持っており、滅多にないことや貴重であることを指していた。その後、貴重な出来事に対しての感謝の言葉となり、現在は一般的なお礼の言葉として使われるようになった。」と言われていています(諸説あり)。元々は仏教の教えが関係しているそうですが、謙虚さを美德する日本人の感覚からすると、納得できる考え方と感ずります。

次の言葉は日本の文化や言葉について学んでいる外国の方の言葉です。

日本の漢字は魔法だねえ。

難しい事が『無い』人生を生きるは『無難』な人生、

難しい事が『有る』人生を生きるは『有難い』人生、

『ありがとう』の漢字が『有難う』ってなるは不思議だけれど、

難しい事が有るから『ありがとう』って感謝が有るんだなあ。

ここからも「ありがとう」の意味の深さ、人生や生き方についても考えさせられます。学校でも職場でも思い通りに行かないこと、努力しても期待通りの成果が出ないこと等、人生に困難や悩みは尽きません。でもそんな困難があるからこそ、人からの助けや優しさに触れることができ、そこに「ありがとう」の感謝を伝える素敵な場面が出来ると捉えれば「有難い」人生も悪くない、むしろ多くの人と関われるこちらの人生の方がお得かもしれないと感じる人もいるでしょう。

2学期のゴールが見えてきましたが、まだ3週間あります。「無難」にいくか「有難く」いくか、吹中生には今年初めに立てた目標のやり残しを少しでもなくせるよう「有言実行」することに挑戦して欲しいと思います。言葉にすることで自分に課題(困難)を課し、最後まであがき続けることで「ありがとう」を伝える場面にも出会えると思います。普段自分を支えてくれている周囲への感謝も忘れずに残りの3週間で過ごしてください。保護者の皆様には、引き続き御家庭での応援をよろしくお願いいたします。

